

民主化闘争情報

No. 892

2013年10月28日

発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

10月25日にJR貨物・静岡総合鉄道部の25才の青年が貨物鉄産労に加入したと民主化闘争情報891号で報じたばかりであるが、本日、同じ静岡総合鉄道部で25才の運転士がJR総連・日貨労を脱退し、貨物鉄産労に加入した。

貨物・静岡総鉄で更に拡大！ 25才の運転士が貨物鉄産労に加入

貨物鉄産労は、昨年の大会以降、若手を中心として各地で組織拡大を果たしている。中でも東海地区本部においては、浜松・名古屋・岐阜に続いて、静岡地区での相次ぐ若手の加入となり、組織拡大の流れが続いている。一連の動きは、貨物鉄産労の皆さんの地道な世話役活動や真面目に業務を取り組んできた結果であり、JR連合は貨物鉄産労の皆さんの努力と勇気を持って決断を下した青年に最大限の敬意を表するものである。

政策課題に向き合う姿勢が「結果」につながる！

これまでJR連合及び加盟する各単組は、JRの抱える様々な政策課題の実現に向けて、真摯に取り組んできた。先日、25日に加入した青年は、加入した理由に「経営基盤が軟弱であるJR貨物の為に、貨物鉄産労は国に対し税制免除申請、そしてそれに向けた行動に改心させられた」として、政策課題に向き合う貨物鉄産労の姿勢を挙げており、JR連合も課題の解決に向けて、加盟する各単組とともに、一層取り組みを強化していく。

貨物連合の3ロジ労組は一年間で30人を拡大！

一方、貨物鉄産労と関連するグループ労組で構成する貨物連合は、10月25日に東京都内で第4回定期大会を開催し、この一年の運動を総括するとともに、今年度の運動方針を確立した。大会の中では、貨物連合に加盟する南関東・中国・九州の3ロジ労組の一年間の拡大が約30人に達することが報告されるなど、多くの成果が確認されている。

貨物鉄産労は、「貨物鉄産労の前進・躍進が貨物連合全体を引っ張ることになる」との認識に立ち、成果を全国の力で継続していくこととしている。

**良識ある日貨労組合員の皆さん！
政策実現へ真摯に取り組む貨物鉄産労に結集しよう！**